

2008年岩手・宮城内陸地震に伴う災害被害状況等

平成20年6月25日14:00現在
 岩手県総合防災室
 (総合防災室 内線5153)

災害被害状況

区 分		数 量 ・ 被 害 額				担 当 部 課 等	
人的被害	死 者	2 人				地域福祉課(内線 5421)	
	重 傷 者	9 人					
	軽 傷 者	28 人					
住家被害	全 壊	1 棟	1 世帯				千円
	半 壊	2 棟	2 世帯				千円
	一 部 破 損	357 棟	349 世帯				千円
	床 上 浸 水	棟	世帯				千円
	床 下 浸 水	棟	世帯				千円
	計	360 棟	352 世帯				千円
非 住 家 被 害		13 棟					37,323 千円
農業関係被害	農 業 施 設	61 件				164,307 千円	
	農 作 物 等	37.4 ha				13,896 千円	
	畜 産 関 係	kg	4 頭羽			323 千円	
	農地農業用施設	539 箇所				1,740,000 千円	
	計					1,918,526 千円	
林業関係被害	林 業 施 設 被 害	295 箇所				991,692 千円	
	林 産 物 被 害					30,100 千円	
	森 林 被 害	57.2 ha				97,968 千円	
	林 野 荒 廃	38 箇所				5,895,279 千円	
	計					7,015,039 千円	
水産関係被害	水 産 施 設	箇所				千円	
	漁 船	隻				千円	
	漁 具	箇所				千円	
	養 殖 施 設	台				千円	
	水 産 物	kg		個(殻付かき)		1,000 千円	
	計					1,000 千円	
漁港関係被害	調査率 100%	箇所				千円	
土木施設被害	河 川	37 箇所				1,367,000 千円	
	道 路	347 箇所				12,099,452 千円	
	橋 梁	38 箇所				3,164,534 千円	
	砂 防	4 箇所				179,000 千円	
	公 園	1 箇所				1,000 千円	
	海 岸	箇所				千円	
	港 湾	箇所				千円	
	下 水 道	2 箇所				99,600 千円	
	計	429 箇所				16,910,586 千円	
学 校 等 被 害		155 校				219,204 千円	
消 防 施 設 被 害		2 箇所				700 千円	
庁 舎 等 被 害						8,013 千円	
社 会 教 育・体 育・文 化 施 設 被 害						91,445 千円	
社 会 福 祉 施 設 被 害						3,725 千円	
観 光 施 設 被 害		35 箇所				850,543 千円	
医療衛生施設被害	上 水 道	11 箇所				38,854 千円	
	簡 易 水 道	19 箇所				454,390 千円	
	医 療 施 設	17 箇所				41,449 千円	

	衛生施設	2箇所	550千円	環境生活企画室(内線 5327)
	計	49箇所	535,243千円	
商工関係被害	商業関係	162箇所	104,100千円	商工企画室(内線 5528)
	工業関係	125箇所	112,707千円	
	計		216,807千円	
文化財関係被害	38箇所	10,120千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)	
電力関係被害		11,850千円	環境生活企画室(内線 5327)・企業局	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
高圧ガス施設等被害	箇所	千円	総合防災室(内線 5556)	
公営住宅等被害		千円	県土整備企画室(内線 5850)	
船舶被害	隻	千円	総合防災室(内線 5153)	
工業用水道被害		千円	企業局経営総務室(内線 6379)	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
通信関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
(予備 1)		千円		
(予備 2)		千円		
(予備 3)		千円		
計		27,830,124千円		

住民等の被害

- (1) 人的被害 : 死亡2名、負傷37名
・奥州市 死亡1名、負傷32名
・一関市 死亡1名、負傷2名
・藤沢町 負傷1名
・平泉町 負傷1名
・花巻市 負傷1名
- (2) 住家被害 : 合計 360棟
・奥州市 206棟 ・北上市 3棟
・一関市 116棟 ・西和賀町 6棟
・花巻市 3棟
・金ヶ崎町 25棟
・平泉町 1棟

避難の状況

区分	避難勧告実施		自主避難		避難施設
	世帯数	人員	世帯数	人員	
奥州市	2	4	10	21	
避難所	1	1	5	10	衣川健康センター
親戚宅等	1	3			衣川荘
一関市	23	69			
避難所	10	37			巖美公民館山谷分館
親戚宅等	13	32			
計	25	73	10	21	

6月25日12:00に、本寺小学校体育館から巖美公民館山谷分館に避難先を変更完了

各部局における対応状況の特記事項【平成20年6月24日16時現在】

部局名	部局における対応状況
環境生活部	1 断水 326戸 内訳 : 奥州市衣川区衣川簡易水道300戸(平泉町13戸を含む。) 一関市巖美・萩荘簡易水道 26戸 2 奥州市衣川区衣川簡易水道は、鳴沢水源の濁度対策として、簡易ろ過施設工場製作及び仮設水管の本管接続作業中であり、7月4日の復旧を予定している。
商工労働観光部	真湯山荘(一関市) 営業休止 6/23営業再開断念 【概要】 一関市巖美町の温泉施設「真湯山荘」の管理運営を一関市から委託されている一関市森林組合が、9人(男4人、女5人)の全従業員に対し、「雇用は7月20日まで」とする解雇予告を6月23日に行った。 【岩手労働局における対応(6月24日)】 真湯山荘従業員に対する支援方策を次のとおり実施することとしている。 (説明会の開催又は個別指導等、具体の対応策については一関公共職業安定所で決定) 雇用保険の給付 職業紹介 職業訓練の斡旋

<p>農林水産部</p>	<p>1 農地・農業用施設等の復旧等 (1) 一関市市野々原・祭時地区のかんがい不能と想定される水田19haについて、実際の作付面積や通水状況などについて、現地調査を開始(6月23日から)。 市野々原地区の調査(6月23日)では、水田亀裂や畦畔崩落が各所で見られることから、一関市等とともに今後の対応について検討中(祭時地区については6月24日に調査を実施)。 (2) 磐井川流域の大々切頭首工(市野々原土砂ダム下流8km地点)では取水量が減少していたが、市野々原地区の土砂ダムの仮排水路が完成したことにより取水量は、ほぼ平年並みまで回復。</p> <p>2 林地崩壊への対応 (1) 林野庁が実施していた国道342号の迂回路(板川・桂沢林道)の緊急対策工事が完了し、暫定供用を開始(6月24日午前9時から)。 (2) 国有林における復旧対策として、林野庁は 産女川上流の土砂流出を抑制するための治山ダムの設置(事業費約551百万円)、 東桂沢地区の山腹斜面復旧対策(事業費約589百万円)の実施を決定(6月23日)</p>
<p>県土整備部</p>	<p>・ 6月25日 仮設建築物に対する制限の緩和が地方公共団体が建築する応急仮設建築物等及び被災者が自ら使用するために建築する施設(30㎡以内)に対する建築基準法の適用を除外「一関市全域」及び「奥州市全域」において、災害発生から1か月以内に建築する施設等に対して建築基準法の適用を除外。(根拠法令:建築基準法第85条第1項)</p> <p>・ 6月26日 一般国道342号祭時(まつるべ)大橋現地調査 藤野陽三東京大学教授(社会基盤学科・橋梁研究室)他5名</p>